



大阪大学 (大阪府)



一人一人への丁寧な指導 ・ 豊富な選択科目 ・ 目的別のコース

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設された伝統ある大学です。2007年10月、大阪外国語大学と統合し、新しい大阪大学となりました。学生の教育においては、高度の専門性ととも、幅広い学際的視野を身につけた人材を育成することに力を注いでいます。

現在は、総合大学として、11の学部があり、そのほか16研究科、6附置研究所、4附属図書館、2附属病院、30を超える教育研究施設などが置かれています。学生数は約24,400名、教職員数は約6,600名です。

大阪大学には、吹田、豊中、箕面（みの）の三つのキャンパスがあります。日研生プログラムは箕面キャンパスにある日本語日本文化教育センター（GJLC）を中心として実施しています。

② 国際交流の実績（2018年5月1日現在）

大学間交流協定数 125件、海外留学生数 1,707人

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2018年：留学生数 2,480人、日研生 40人
2017年：留学生数 2,273人、日研生 58人
2016年：留学生数 2,184人、日研生 54人

④ 地域の特色

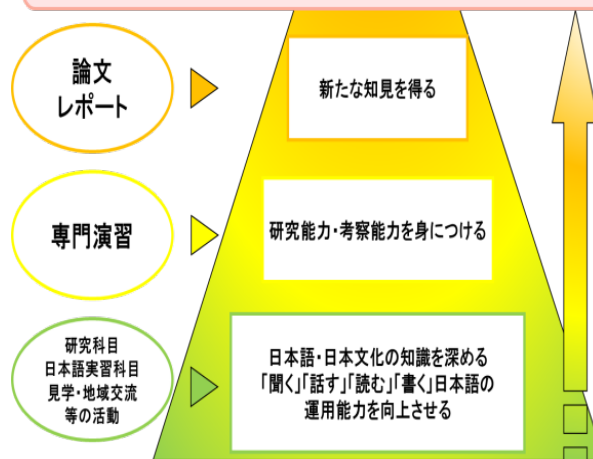
箕面市は大阪府の北部、北摂と呼ばれる地域にあります。箕面キャンパスのある彩都地区は「国際文化公園都市」として、留学生を暖かく迎え入れ、「ホスト・ファミリー制度」などでの交流も発展しています。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

日本語・日本文化の分野で活躍できる人になる



② コースの特色

★1対1に近い丁寧な指導

学生には必ずひとりの先生がアドバイザーになります。アドバイザーは勉強や生活に対してアドバイスをするほか、毎週、少人数制の授業をおこないます。その授業では、学生ひとりひとりに対して、テーマにあわせた指導をします。

★自由に選べるたくさんの授業

授業は週に100以上あり、すべて留学生のために準備されたものです。日本語能力を高める授業と、日本語・日本文化についての知識を身につける授業とがあります。学生はレベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選ぶことができます。

★目的に合わせた二つのコース

日研生プログラムには二つのコースがあります。

○研究コース：日本語・日本文化について研究することを希望する学生のためのコースです。それぞれの研究分野に関する知識や方法を学ぶ中で、日本語・日本文化を研究するために必要な能力を身につけます。コース修了時に、研究成果について、論文を完成させます。

○研修コース：将来社会で幅広く活躍することを希望する学生のためのコースです。自らの活動報告やグループ・ディスカッションを行った後、学内外研修に参加したりする中で、日本語・日本文化を考察するために必要な能力を身につけます。コース修了時に、研修成果について、レポートを完成させます。

③ 受入定員

60名（大使館推薦40名、大学推薦20名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の条件を満たす留學生が日研究生プログラムの受講を希望することができます。

1. 渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻していること。
2. 日本語学習歴が2年以上あること。
3. 基本的な日本事情の知識を有すること。

⑤ 達成目標

1. 日本語実習科目の授業を受けて、日本語の運用能力を向上させること。
2. 研究科目の授業を受けて、日本語・日本文化についての知識を深めること。
3. 専門演習科目の指導を受けて、研究・考察能力を身につけること。
4. 研究・研修の成果について、日本語の論文・レポートを作成し、口頭発表できるようになること。

※ 大阪大学の日研究生の多くは修了時に日本語能力試験N1合格レベル以上の日本語運用能力に到達しています。

⑥ 研修期間

2019年10月 ～ 2020年8月

修了式は8月上旬を予定（2018年は9月7日）

※ 2018年度から11ヶ月プログラムになりました。

※ 2019年9月下旬にオリエンテーションが始まりますので、それ以前に渡日してください。



修了生講演会

⑦ 研修科目の概要・特色

CJLCの1年間は、秋～冬学期（10～3月）と春～夏学期（4～8月）の二学期に分けられ、どちらの学期も15週あります。授業はすべて日本語で行われます。ひとつの授業（1コマ）は90分間です。

学期のはじめに日本語のプレースメントテストがあり、中級・中上級・上級のレベルに分けられます。

1) 必須科目

日研究生プログラムの必須科目は3種類、必修科目と日本語実習科目、研究科目です。

★必修科目（JDR）

この授業は、ただひとつの必修の授業です。各学期1コマ（30時間）、学生ひとりひとりの研修テーマにあわせて、論文やレポートを作成するための指導をきめ細かくおこないます。これは日研究生専用の授業で、大阪大学の日研究生プログラムの最大の特徴になっています。

★日本語実習科目（1週あたり約60コマの授業を提供）

日本語能力を高めるための授業です。中級・中上級・上級の3つのレベルにあわせて、少人数でおこなわれます。次の6種類の科目があります。

読解、聴解、文章表現、口頭表現、

文法・語彙：文法や文型を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。

漢字・語彙：漢字や漢語を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。

★研究科目（1週あたり約40コマの授業を提供）

日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や方法論を身につけるための科目です。中上級・上級の2つのレベルがあります。

研究科目の主な開講科目は次の通りです。

日本語学研究：音声学・音韻論/形態論/統語論/語用論/意味論/類型論/方言/日本語史

日本語教育学研究：教授法/会話分析/第二言語習得

日本思想文化研究：伝統文化/宗教文化/民俗学

日本歴史文化研究：日本史/茶道/日本服装史/

日本美術

日本文学文化研究：日本文学（古典文学/近現代文学）/伝統芸能

日本近現代文化学研究：社会学/女性学/比較文化/アニメ学

日本社会文化学研究：経済学/経営学/国際関係論など

「日本語実習科目」と「研究科目」は、各学期とも週に合計100コマ以上あります。その中から、秋～冬学期・春～夏学期あわせて20コマ（600時間）以上を、レベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選びます。留學生のために準備された授業がこれだけ多く提供されているのは、大阪大学の日研究生プログラムの特色の一つです。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

「必修科目」では、実地見学や研修があります。

（例：酒蔵見学・商店街見学・新聞社見学・通訳翻訳セミナーなど）

「研究科目」の授業では、授業の内容に合わせて必要な実地見学を行います。

（例：美術館見学・能楽鑑賞など）

また、日本文化についての理解を深め、日本語能力を高めるために、学内外のさまざまな活動を計画しています。（例：見学旅行・歌舞伎鑑賞・文楽鑑賞など）

3) 修了研究の内容

修了研究の一例は以下のとおりです。

- ・ 翻訳における役割語
- ・ アニメ・漫画における関西弁
- ・ 日本語と韓国語の温度表現の比較
- ・ 日本語教育におけるアクセント指導について
- ・ 上方落語について
- ・ 日本の大学における怪談話 など

4) 日本人学生との共修の機会

日本人学生と共に学ぶ授業として、日本文学文化研究（古典文学/近代文学）が秋～冬学期と春～夏学期の両方で開講されています。また、日本語能力に応じて、春～夏学期に限り、他学部で開講されているいくつかの日本関係の授業も提供しています。

5) その他の講義、選択科目等

日本文化についての体験型の授業など

⑧ 年間行事

(2017-18年度実施例)

- 9月 来日 (9月下旬)
- 10月 チューター・ホストファミリー対面式
秋季留学生歓迎会
- 11月 大学祭、研修コース見学 (酒蔵)
芸能鑑賞会 (宝塚歌劇)
見学旅行 (一泊二日・永平寺ほか)
- 12月 研究コース面接
芸能鑑賞会 (歌舞伎)
- 1月 研修コース見学 (空堀商店街)
- 2月 秋冬学期試験期間、研究コース面接
研究/研修コース発表会
見学旅行 (一日・忍者博物館ほか)
- 3月 大相撲観戦
- 4月 見学旅行 (一泊二日・こんぴら歌舞伎ほか)
春季留学生歓迎会
研修コース見学 (読売新聞大阪本社)
- 5月 いちよう祭 (大学祭)、チューター対面式
研修コース通訳・翻訳セミナー
- 6月 修了生講演会、芸能鑑賞会 (文楽)
見学旅行 (一泊二日・伊勢神宮ほか)
- 7月 春夏学期試験期間、修了論文・レポート提出
研究コース論文口頭試問
- 9月 研究/研修コース最終発表会、修了式
帰国 (9月中旬頃)
- ※ 2019-20年度は、2020年8月に修了式を行った後、帰国することになります。



見学旅行
金刀比羅宮



芸能鑑賞会・
歌舞伎
大阪松竹座

⑨ 指導体制

1. 日研生プログラム担当教員：
佐野方郁、柴田芳成、松村薫子、水野亜紀子、
村田真実
2. 指導体制・学生の所属等：
学生はCJLCに所属します。学生の指導は、上記教員を含むCJLC教員が担当します。
※ 必要に応じて、日本人チューターが学習を手助けします。

⑩ コースの修了要件

1. 設定された授業科目数を修得すること。
 2. 中間発表会・最終発表会に参加して発表すること。
 3. 研究・研修の成果をまとめた日本語の論文・レポートを提出すること。
- 上記の三つの要件を満たした学生について、CJLC教授会が修了判定を行い、修了した学生には修了証書を発行します。

備考：単位認定、単位互換

単位認定・単位互換については、学生の出身大学の判断に委ねています。出身大学での単位認定が必要な場合は、具体的なカリキュラムの内容について、申請を行う前にメール等で問い合わせてください。

■宿 舎

日研生が入居する寮として、箕面 (みのお) キャンパス内に箕面留学生会館、箕面国際学生宿舎、もみじ寮 (寮費：月額2万5千円程度 [注]) があります。寮に入居できない場合は、民間アパート (家賃：月額4~5万円程度) を紹介しています。

[注] 2018年度現在の金額です。2019年度に寮費の改定が行われた場合、改定後の金額が適用されます。

■修了生へのフォローアップ

CJLCでは、「日研生修了生追跡調査プロジェクト」を組織して、Eメールやフェイスブックを通じて、修了生の近況の把握、情報の蓄積に努めています。修了生の主な進路は、大学院生、大学教員、大使館職員、日本企業勤務などです。また修了生の必要に応じて、成績証明書・修了証明書を発行しています。そのほか、毎年「修了生講演会」を開催し、本学で大学院生として学んでいる修了生と日本の企業や地方自治体などで働いている修了生を招いて、在校生に修了後の進路についての情報を提供しています。

■問合せ先

<担当部署>

大阪大学 国際教育共通事務室

日本語日本文化教育センター係

住所： 〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

TEL： +81-72-730-5075 (直通)

FAX： +81-72-730-5074

Email： cjlc@office.osaka-u.ac.jp

<ウェブサイト>

大阪大学のウェブサイト

<http://www.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学日本語日本文化教育センター (CJLC) のウェブサイト

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/>

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学の日研生プログラムのホームページ

[http://www.cjlc.osaka-](http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/)

[u.ac.jp/japanese/program/j/](http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/)

